

【社会貢献活動】

■地域住民等を対象にした公開講演会の開催

本学では、医療系大学の特色を生かし地域市民等を対象に、歯・口腔・身体的健康に関する関心度の高い内容についてのテーマを設定した講演会を開催している。

(1) 東京歯科大学公開講演会

平成 18 年度より社会に開かれた大学として、本学の研究成果等を公開し、本学への理解を深めていただくとともに、地域市民へ生涯学習機会を提供することを目的に毎年度開催している。本講演会は地域市民との連携を深める目的から、本学千葉校舎が所在する千葉市美浜区真砂の関連団体（真砂地区コミュニティづくり懇談会、千葉市社会福祉協議会真砂地区部会、千葉市第 31 地区町内自治会連絡協議会）との共催で実施している。内容については、歯の健康、最新の歯科医療の動向等を中心にわかりやすく講演し、また質問の時間も多く設けることにより聞くだけでなく、知的向上心を持たせるなど、地域市民の方々に好評を得ている。

平成 23 年度から千葉市、千葉市教育委員会、千葉市科学館の主催で実施された、科学・技術に関する総合的イベント「千葉市科学フェスタ」においては、本講演会をサテライトイベントとして登録し参画している。

東京歯科大学公開講演会

開催日	講 師	テ ー マ	受講者数
H24. 11. 24	橋本 正次 教授（法人類学）	人類学から見たヒトの頭顔面部の特徴 顔や骨、歯の時代的变化（進化）と法的分野での役割	133 名
H25. 7. 28	一戸 達也 教授（歯科麻酔学）	全身と歯科とのかかわり Topics : 歯科医からのアドバイス 1) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者さんへ 2) 虫歯がないのに歯が痛い患者さんへ	175 名
H26. 10. 25	井上 孝 教授（臨床検査病理学）	健康寿命／Healthy aging 口腔の健康から 健康寿命を考える	267 名
H27. 10. 24	末石 研二 教授（歯科矯正学）	矯正歯科治療、子供も大人も必要です	209 名

H28. 10. 22	久永 竜一 講師 (クラウンブリッジ補綴学) 永井 由美子 講師 (歯科衛生士専門学校) 江口 貴子 講師 (歯科衛生士専門学校)	子どもの頃からの予防	80 名
-------------	--	------------	------

(2) 東京歯科大学市川総合病院公開講演会

本学附属の市川総合病院では、平成 8 年、病院創立 50 周年の際に創立 50 周年記念として公開講演会を開催してきた。講演会の内容は、総合病院の特色を生かして、身近な医療・健康問題を中心にわかりやすく講演することで、近隣市民を中心とした方々に対して、健康維持・増進の一助となっている。

東京歯科大学市川総合病院公開講演会

開催日	講 師	テ ー マ	受講者数
H23. 10. 1	メインテーマ：『賢い眠りで確かな健康！』—油断できないそのイビキ—		100 名
	林田賢一 (スリープ&ストレスクリニック院長)	健やかに眠るための基礎知識	
	佐藤 誠 (筑波大学人間総合科学研究科 次世代医療研究開発・教育統合センター睡眠医学寄附講座教授)	あなたの“いびき”は大丈夫？？ —たかがいびき、されどいびき	
	中島庸也 教授 (耳鼻咽喉科部長)	日中の眠気？！まずは市川総合病院の耳鼻咽喉科へ	
	有坂岳大 助教 (オーラルメディシン・口腔外科)	マウスピースで解決！？いびき予防	
	外木守雄 准教授 (口腔健康臨床科学（口腔外科）)	安眠のためのアゴ（顎）の手術って？	
H24. 5. 26	メインテーマ：『今、子どもたちの環境が危ない！』		70 名
	半田知也 (北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科視覚機能療法学准教授)	子どもにやさしい視覚環境案内	
	武安嘉大 助教 (オーラルメディシン・口腔外科)	こどもの口腔外傷について ～けがをした際のチェックポイント～	
	杉山育子 (市川市子ども部子育て支援課主査)	市川市の子ども虐待への取り組み	
	酒井道子 (慶應義塾大学医学部小児科学教室 子供を性被害から守るクローバーキッズ協会臨床心理士)	『たすけて』と言えない子どもたち —性被害は身近なところで起きている！—	
	江口博之 准教授 (小児科部長)	小児生活習慣病（肥満・高血圧など）について	

H25. 1. 26	メインテーマ：『思わぬアレルギーの落とし穴―身近なアレルゲンから身を守ろう―』		130 名
	大塚宣一 (順天堂大学医学部 小児科・思春期科学教室 先任准教授)	食物アレルギー ―その食物、ほんとうに食べられませんか?―	
	高橋慎一 教授 (皮膚科)	スキンケアこそアレルギー予防の基本	
	浮地賢一郎 助教 (オーラルメディシン・口腔外科)	その病気の原因は! 歯科金属かもしれません!!	
	寺嶋 毅 准教授 (呼吸器内科部長)	気管支喘息 一聞きたいこと、知りたいこと、 あなたの疑問、悩みにお答えします―	
	吉田隆一 助教 (耳鼻咽喉科)	アレルギー性鼻炎 ―つらい花粉症! どう付きあったら良いのか―	
	深川和己 (医療法人社団 慶翔会 理事長/東京歯 科大学市川総合病院 眼科非常勤講師)	メからウロコの花粉症撃退法	
H26. 2. 15	メインテーマ：『認知症をめぐって ～笑顔ですごし続けるために～』		120 名
	吉崎崇仁 助教 (神経内科)	認知症の方と家族の仲良い暮らしを考える	
	森本陽子 講師 (精神科部長)	認知症をこじらせない! ウチでも出来るひと工夫	
	枝広あや子 (公益社団法人東京都豊島区歯科医師会 豊島区口腔保健センターあぜりあ歯科 診療所/東京歯科大学オーラルメディシ ン・口腔外科学講座非常勤講師)	ウチでも出来る! 認知症の方のおいしい食事～ 認知症の方においしく食事を召し上がって頂く ために～	
	藤井千代 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 共通教育科 准教授)	認知症の方と家族をささえる社会のしくみ	

■本学附属病院の地域医療への貢献

本学は、水道橋病院、市川総合病院、千葉病院の3つの附属病院を設置し、それぞれ歯科医療及び内科医療の中核的地域医療機関として地域の医療に大きく貢献している。特に歯科の領域では、口腔がん治療、内科疾患等による合併症患者の歯科治療など一般歯科診療所、開業医の支援病院としての役割を担っている。

水道橋病院は、東京の都心に立地しているため病診連携、病病連携の拠点として全国から患者を受け入れている。また、患者ニーズを反映させ口臭外来、口腔顎顔面痛みセンター等多くの専門外来を設けて症状・疾患別の対応等を行っている。

市川総合病院は、日本で唯一の歯科大学附属の総合病院という特性を活かし、歯科・口腔外科と内科診療各科との緊密な連携による診療を実現している。院内に開設されている「東京歯科大学口腔がんセンター」はその象徴的な存在と言える。また、内科領域においても角膜移植、不妊治療などの先端医療をはじめとする高度医療を通じて、一般開業医の支援病院として地域医療に貢献している。さらに、災害拠点病院、救急病院、地域がん診療連携拠点病院としても機能しており、市川市のみならず千葉県北西部地域の中核病院として貢献している。

千葉病院は、地域歯科医療における重要な役割を担うとともに、地域医療機関との医療連携の円滑な実施を図るために、平成18年5月より医療連携委員会に千葉県及び千葉市周辺の郡市歯科医師会の代表者を含めた「医療連携協議会」を年2回開催し、毎年7月には地域医療機関との連携を密接にするために「医療連携講演会」を開催している。また、平成20年4月に新設された「摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科」は、他の病院や施設との連携も推進している。

なお、これらの附属病院は、年間延べ90万人以上の歯科医療及び医療を行っており、地域住民に多大な貢献をしている。その診療実績は次の表のとおりである。

本学附属3病院の患者延数（入院・外来）

		水道橋病院	市川総合病院	千葉病院	計
平成24年度	入院	4,083	165,628	8,066	177,777
	外来	147,370	373,739	278,288	799,397
平成25年度	入院	4,158	169,491	6,984	180,633
	外来	163,188	380,375	263,411	806,974
平成26年度	入院	4,396	174,395	6,845	185,636
	外来	184,772	384,347	237,869	806,988
平成27年度	入院	4,872	169,400	5,717	179,989
	外来	192,882	374,086	213,468	780,436
平成28年度	入院	3,657	168,611	5,641	177,909
	外来	197,107	355,751	205,466	758,324

■東日本大震災被災地での歯科医療支援

本学は、厚生労働省、日本歯科医師会からの要請を受け、東日本大震災で被災された皆さまの口腔ケアを中心とした歯科医療に当たるため、千葉病院の歯科医師2名、歯科衛生士1名が平成23年4月25日（月）から4月28日（木）まで福島県相馬市、南相馬市を中心として歯科医療活動を行った。